

# 環境モデル都市アクションプラン概要(豊田市) 平成21年3月

## 1. 全体構想

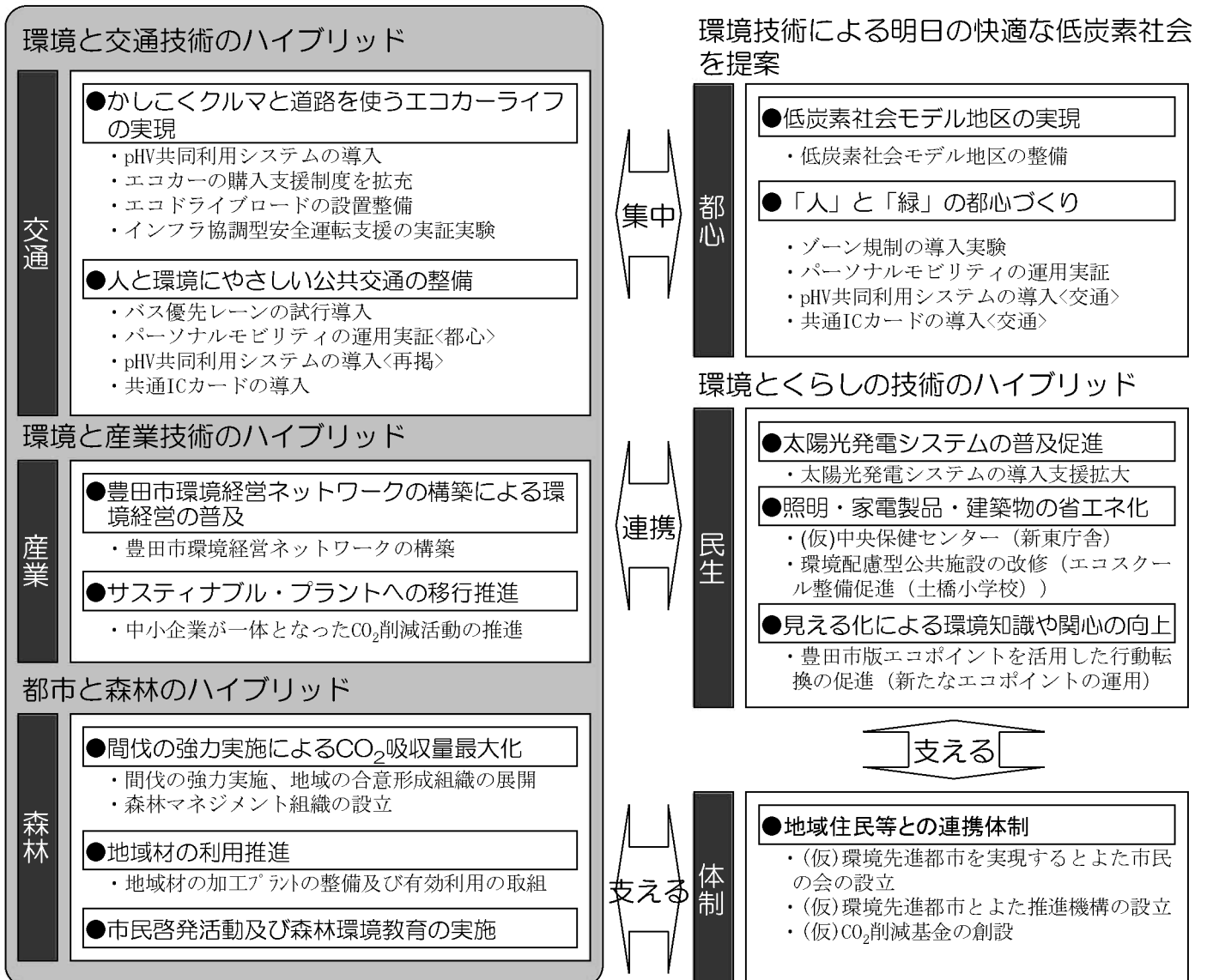
- ・基準年(1990年)排出量: 554万t-CO<sub>2</sub>
- ・2004年度排出量: 584万t-CO<sub>2</sub>

- ・2030年削減目標:【必達】30%【チャレンジ】50%
- ・2050年削減目標:【必達】50%【チャレンジ】70%

部門	内訳(%)	増減率(%) 2030年/1990年
産業	67.6	▲27.0
民生(業務等)	7.9	▲17.6
民生(家庭)	8.1	
運輸	14.7	▲40.0
その他	1.7	▲3.2
		増加量(t-CO <sub>2</sub> )
森林吸収量	-	165,000

## <取組の全体像>

【基本コンセプト】 人と環境と技術が融合する環境先進都市 「ハイブリッド・シティ とよた」



## 2. 5年以内に具体化する主な取組

取組の内容	削減見込み(CO <sub>2</sub> -t)		活用を想定する事業等
	5年間	中期	
<b>(1) 低炭素社会モデル地区の整備(都心)</b> 交通、住宅等に関する先進環境技術を公募導入し、快適な低炭素社会を実体験できる「まち」を整備。先進環境技術を実証実験することにより、市内外での事業化・導入展開を誘導。	5年間	—	地方の元気再生事業、低炭素地域づくり面的対策推進事業等
	中期	—	

**事業実施イメージ**



《導入技術の例》

- ・環境共生住宅
- ・自然エネルギー利用
- ・緑化技術
- ・パーソナルモビリティ 等

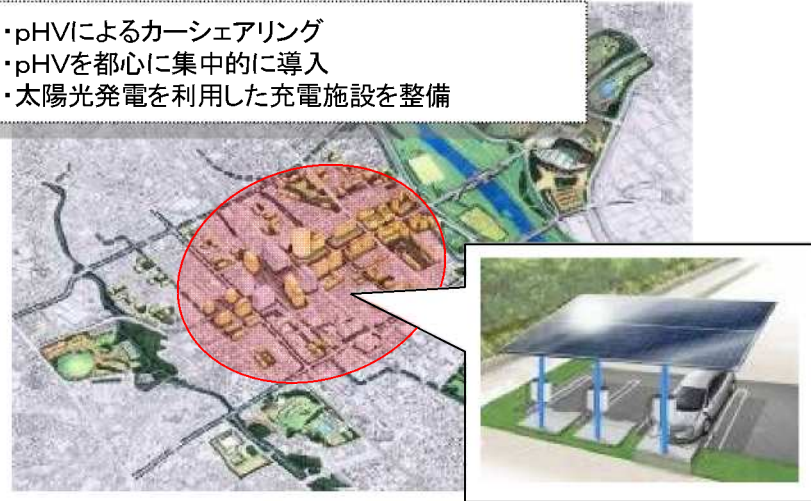
### 取組スケジュール

H21年度	↓ 事業計画案検討 (合意形成等) ~ 決定 ~ 施設整備 ↓ 順次供用開始 ↓
H22年度	
H23年度	
H24年度	
H25年度	

取組の内容	削減見込み(CO <sub>2</sub> -t)		活用を想定する事業等
	5年間	中期	
<b>(2) エコカーの普及(交通)</b> pHV共同利用(カーシェアリング、太陽光発電を利用した充電施設等の整備)の実施、基幹バスへのHV導入拡大、エコカー購入補助等を実施。	5年間	47,500	環境保全型の地域づくりの推進支援事業等
	中期	96,300	

**pHV共同利用の事業実施イメージ**

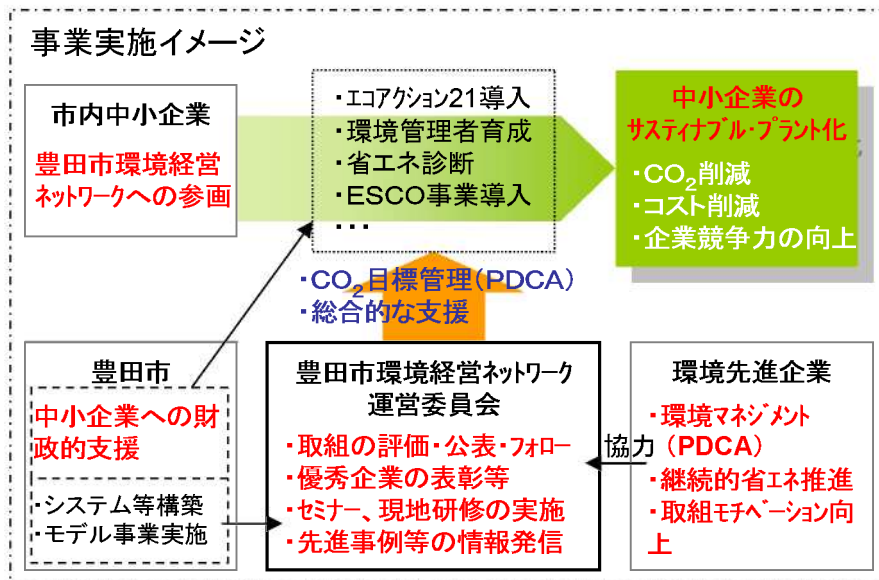
- ・pHVによるカーシェアリング
- ・pHVを都心に集中的に導入
- ・太陽光発電を利用した充電施設を整備



### 取組スケジュール

H21年度	・pHV共同利用計画 策定～導入、評価 ・購入補助(継続)、 拡充検討
H22年度	
H23年度	・基幹バスへのHV 導入拡大
H24年度	
H25年度	

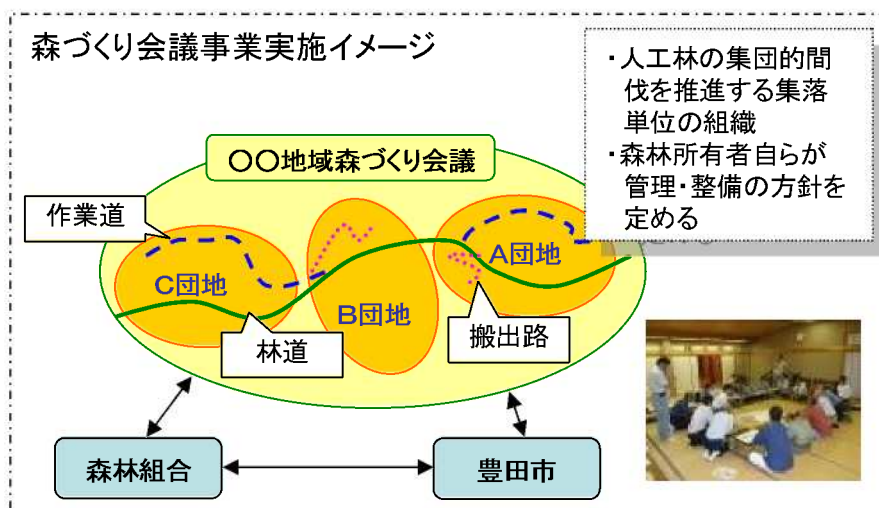
取組の内容	削減見込み(CO <sub>2</sub> -t)		活用を想定する事業等
(3) 豊田市環境経営ネットワークの構築による環境経営の普及、サステナブル・プラントへの移行推進(産業) 先進的に環境改善に取り組む企業からの協力、市からの資金補助や情報提供、商工会議所からの経営指導の一体的実施により、中小企業のCO <sub>2</sub> 削減や環境経営の推進を一体的にマネジメント。	5年間	80,000	事業場等省エネルギー支援サービス導入事業等
	中期	252,000	



**取組スケジュール**

H21年度	体制整備検討(詳細)運営
H22年度	
H23年度	
H24年度	
H25年度	

取組の内容	増加見込み(CO <sub>2</sub> -t) (森林吸収)		活用を想定する事業等
(4) 間伐の強力実施、地域合意形成組織の展開(森林) 事業地の集約化を目指した地域の合意組織「森づくり会議」や国県補助に市費を上乗せした高率補助等により強力に間伐を実施。H39年度までに全ての人工林を健全化。	5年間	107,800	美しい森林基盤整備事業、森林居住環境整備事業等
	中期	164,700	



**取組スケジュール**

H21年度	間伐支援、森づくり会議設立推進
H22年度	
H23年度	
H24年度	
H25年度	約6割の人工林を健全化

(千t-CO2)

## 豊田市の排出削減イメージ

